

# 2017年12月期 本決算説明会



PAS With DX

ヤマハ発動機株式会社  
2018年2月13日  
(証券コード:7272)

# 本日まで説明する内容

## 2017年12月期 本決算

### 代表取締役社長 日高 祥博

#### ● 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

# 2017年・2018年の要点

## ■ 経營業績

2017年：各利益、過去最高益を達成

2018年：（為替影響を除き）収益性・財務体質の中計目標は達成

- ①売上：インドネシア/RV誤算を他で埋めるも、少し足りず
- ②収益性：達成見込み
- ③財務体質：達成見込み。成長投資は機動的に投入

## ■ 新中計に向けて

事業環境変化に対応し、成長戦略加速に向け資源投入

- ・二輪コンピューターの電動化への備え
- ・新事業開発やロボティクス分野など、新たな価値創造へ



# 経営業績：2017年

各利益、過去最高益を達成。

(億円)	2016年実績	2017年実績	前年比
売上高	15,028	16,701	111%
営業利益	1,086	1,498	138%
営業利益率	7.2%	9.0%	+1.7pts.
経常利益	1,021	1,548	152%
当期純利益 ※	632	1,016	161%
(\$・€)	109・120	112・127	—
(\$/IDR・BR\$)	13,300・3.5	13,400・3.2	—

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

# 経営業績：営業利益変動要因

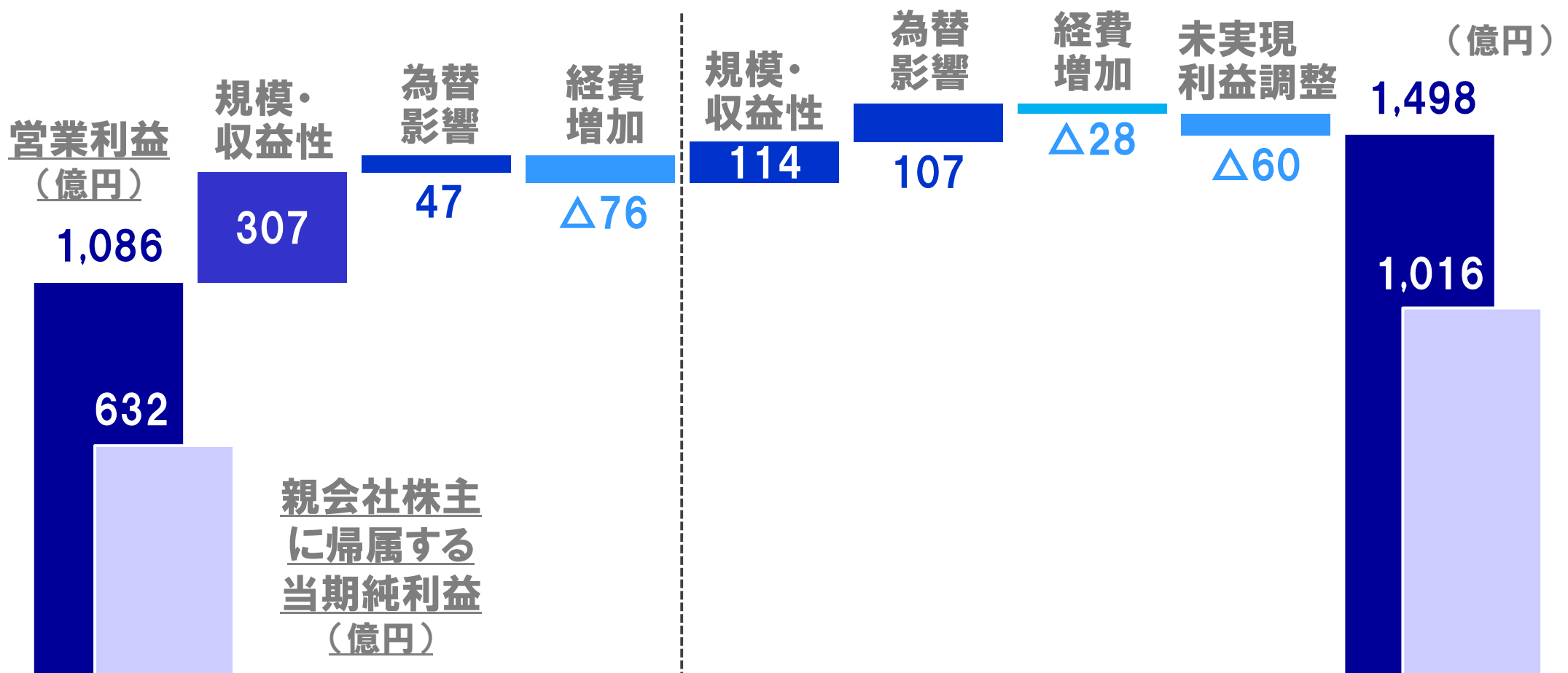
新興国・先進国ともに、概ねすべての事業において収益性改善が進む。

## 新興国二輪車

736億円（前年比 +278億円）

## 先進国事業等

762億円（前年比 +133億円）



2016年

(\$/€: 109/121)

2017年

(112/127) 5

# 経営業績：2018年（年間予想）

成長への投資も行いながら、安定的に利益を維持する。

（億円）	2017年実績	2018年予想	前年比
売上高	16,701	17,000	102%
営業利益	1,498	1,500	100%
営業利益率	9.0%	8.8%	△0.2pts.
経常利益	1,548	1,550	100%
当期純利益 ※	1,016	1,030	101%
（\$・€）	112・127	105・130	—
（\$/IDR・BR\$）	13,400・3.2	13,300・3.3	—

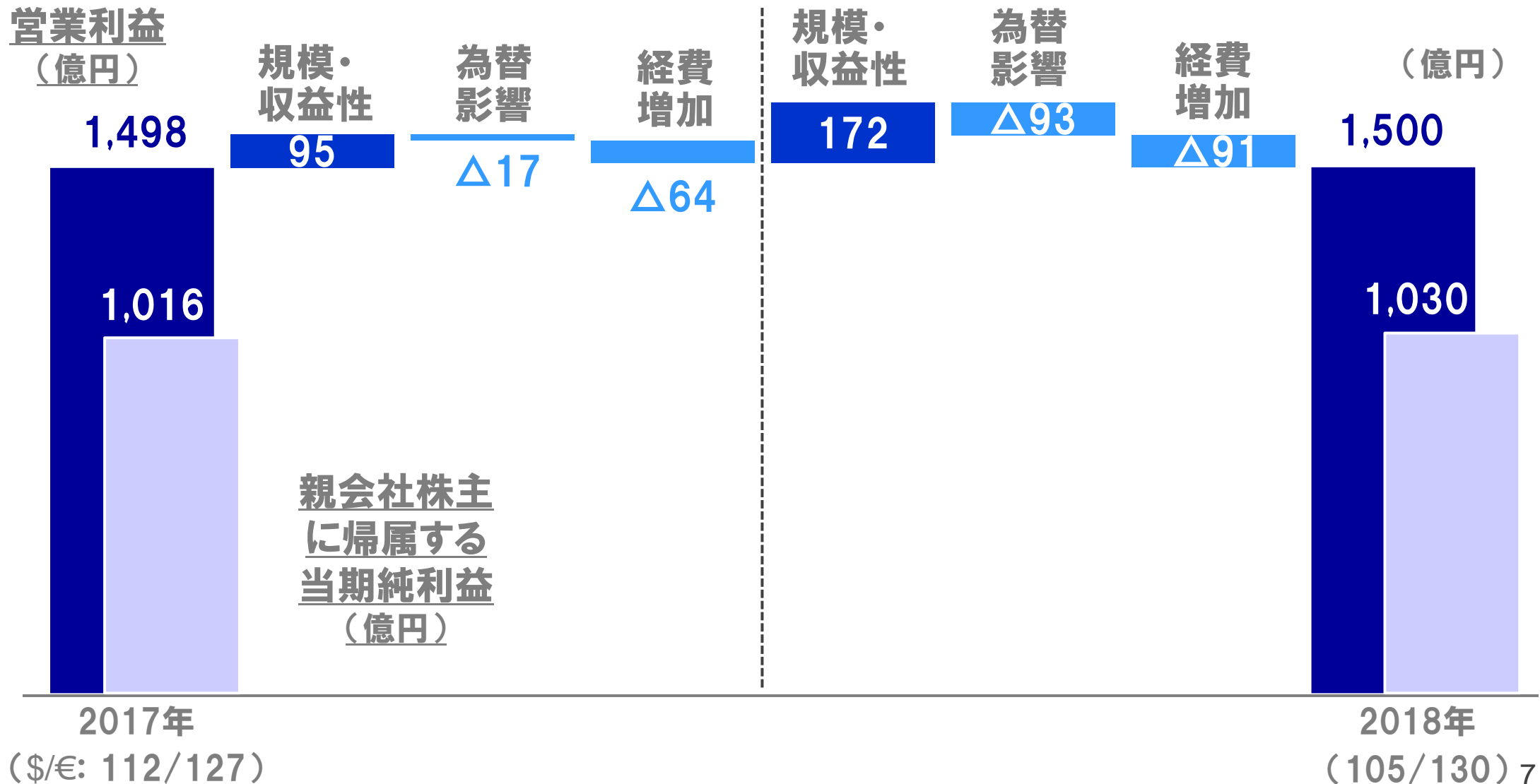
※ 親会社株主に帰属する当期純利益

# 経営業績：営業利益変動要因（年間予想）

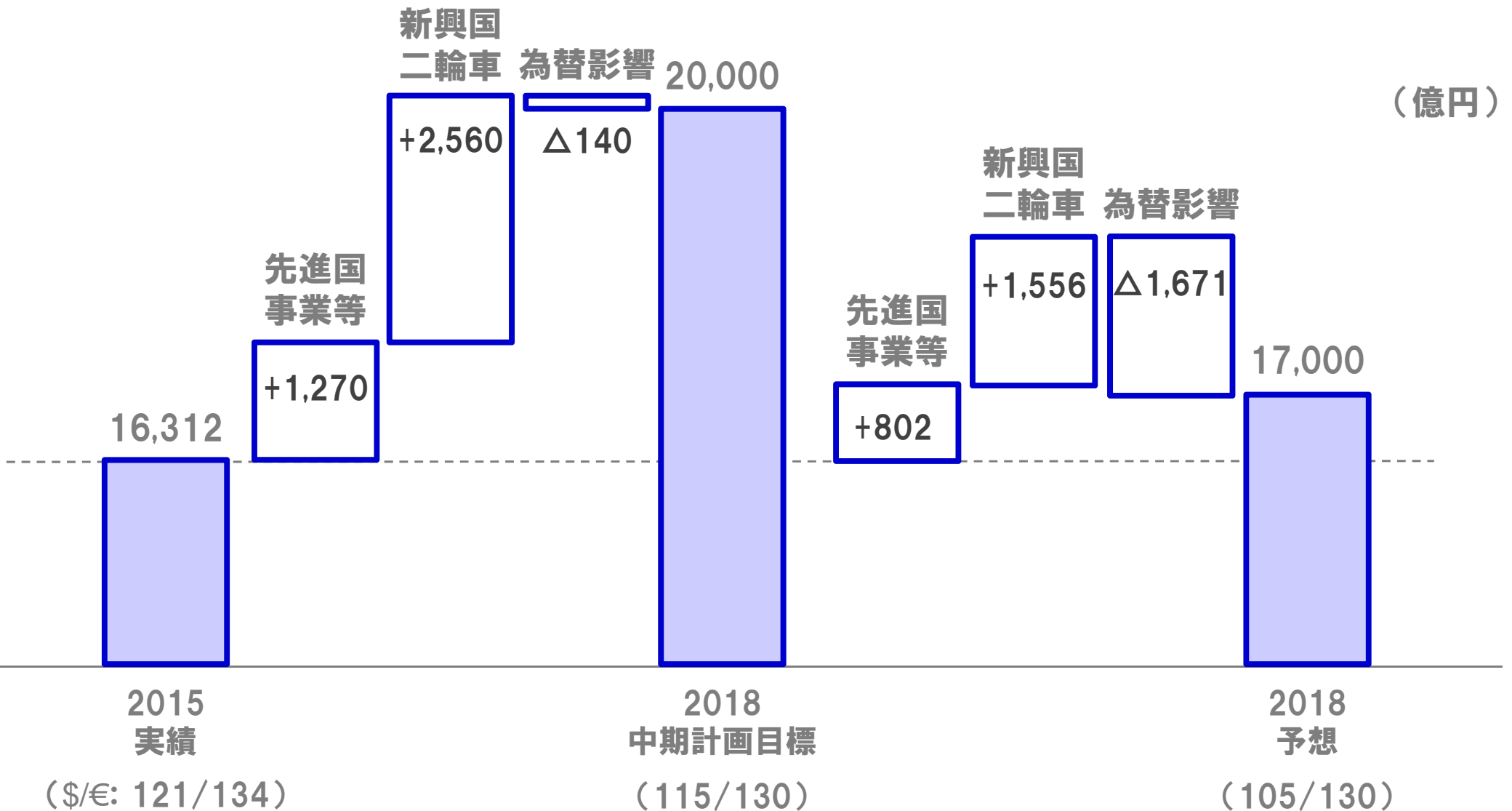
先進国・新興国ともに実質増益。

新興国二輪車  
750億円（前年比 +14億円）

先進国事業等  
750億円（前年比 △12億円）

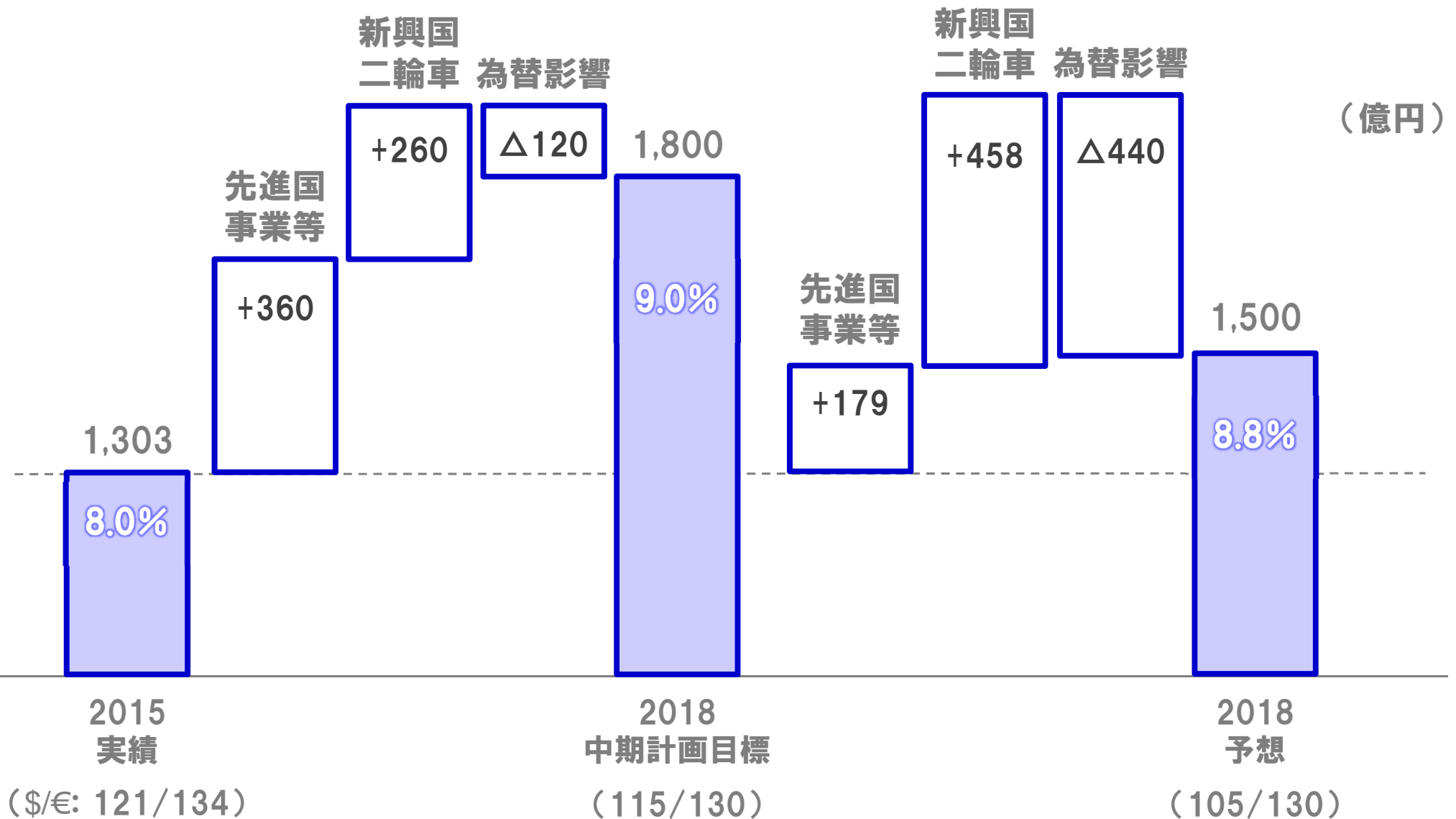


【先進国事業等】 マリン・産業用機械・ロボットは計画以上に増加、二輪車、特機は計画遅れ。  
 【新興国二輪車】 ベトナム・フィリピン・タイは計画以上に増加、インド、インドネシアは計画遅れ。



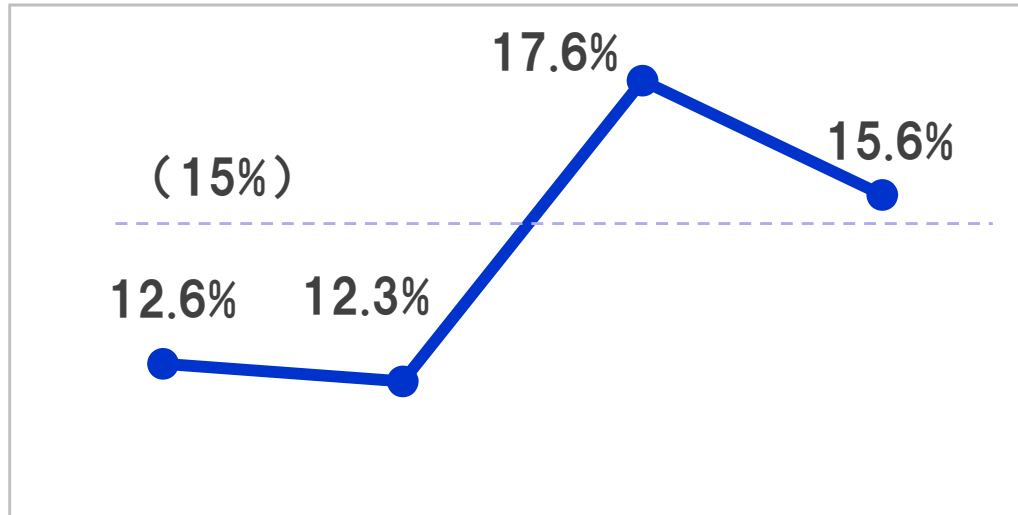


【先進国事業等】 マリン・産業用機械・ロボットは計画以上に増加、二輪車、特機は計画遅れ。  
 【新興国二輪車】 アセアン、ブラジルは計画を大幅に上回る。

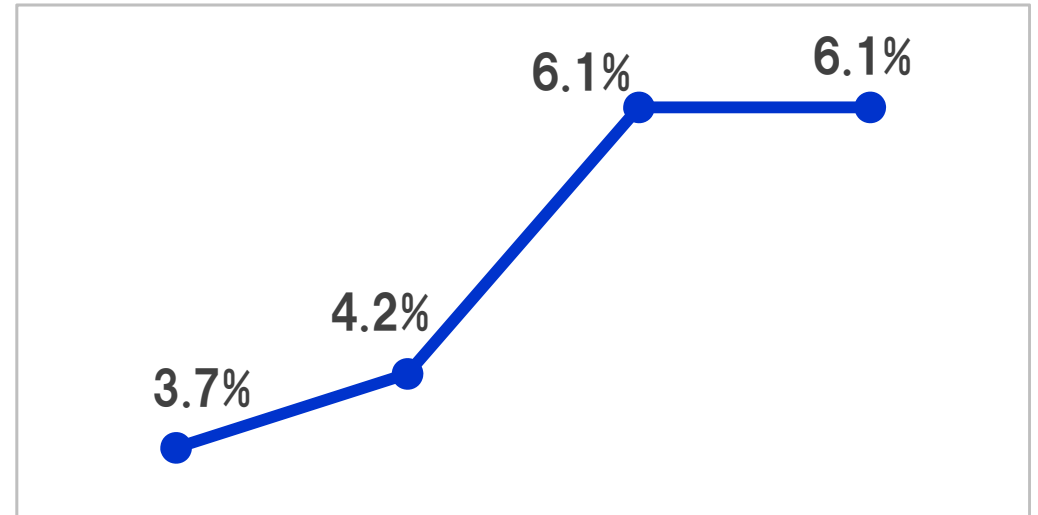


## 中計の財務目標は達成見込み。

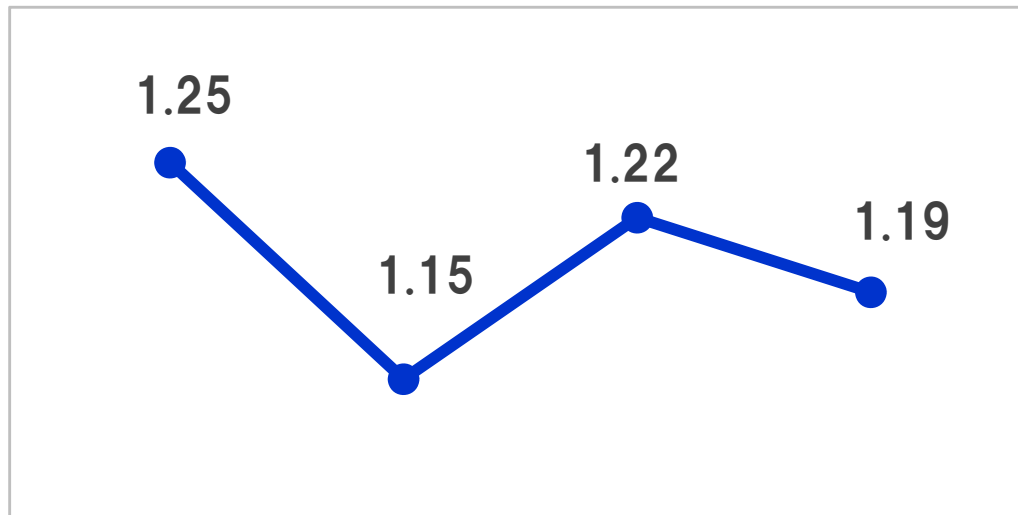
### ROE



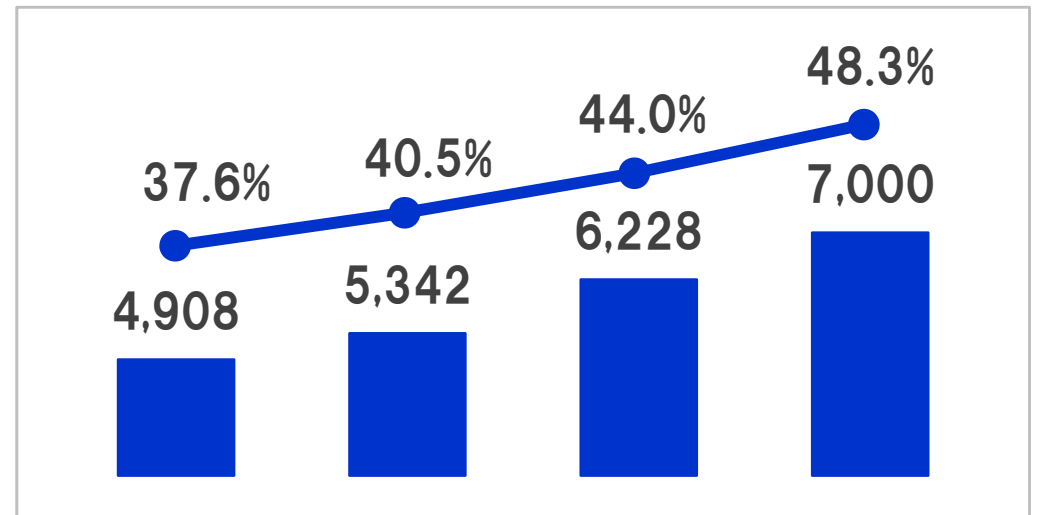
### 当期利益率



### 総資産回転率



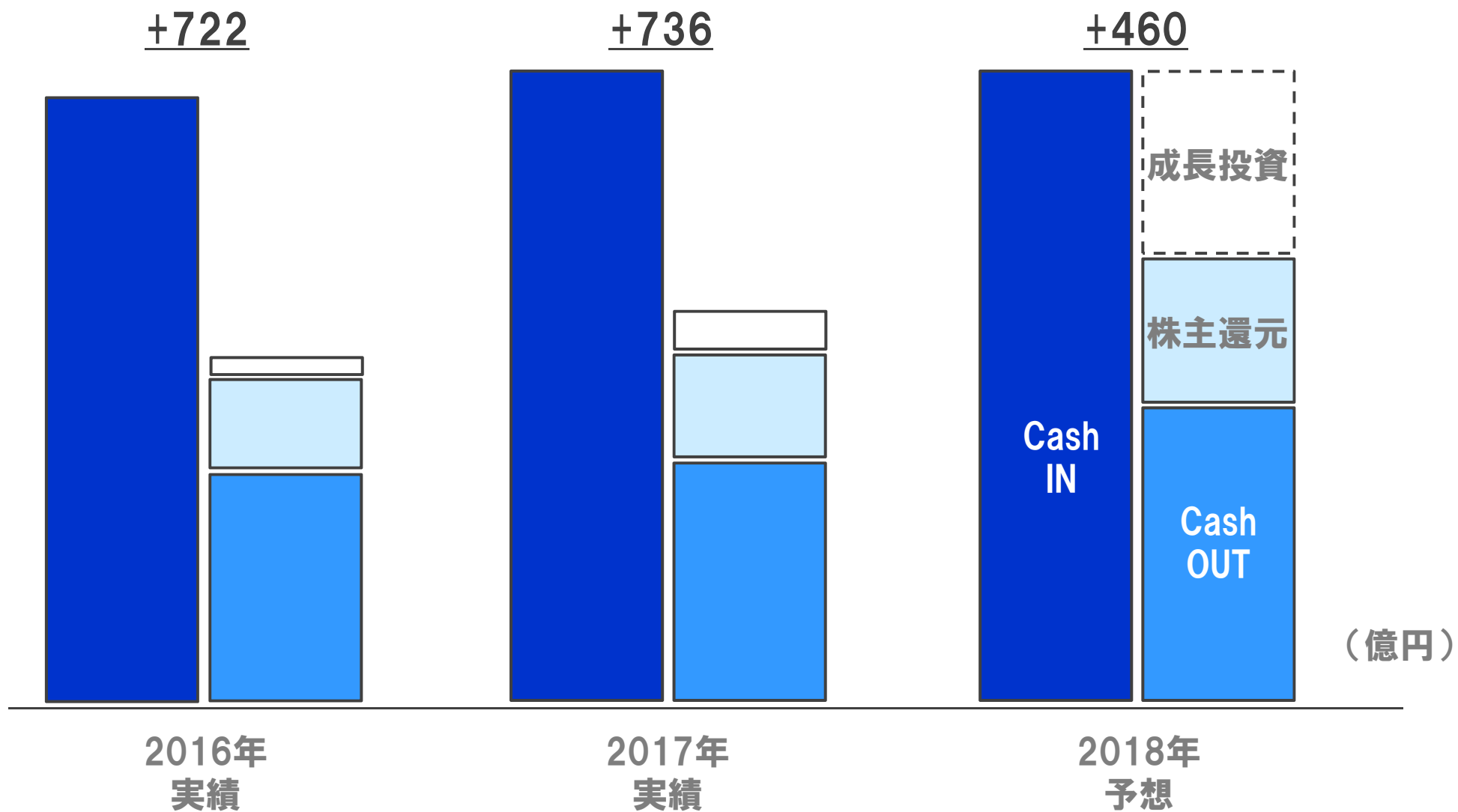
### 自己資本(億円)・自己資本比率



2015年 2016年 2017年 2018年

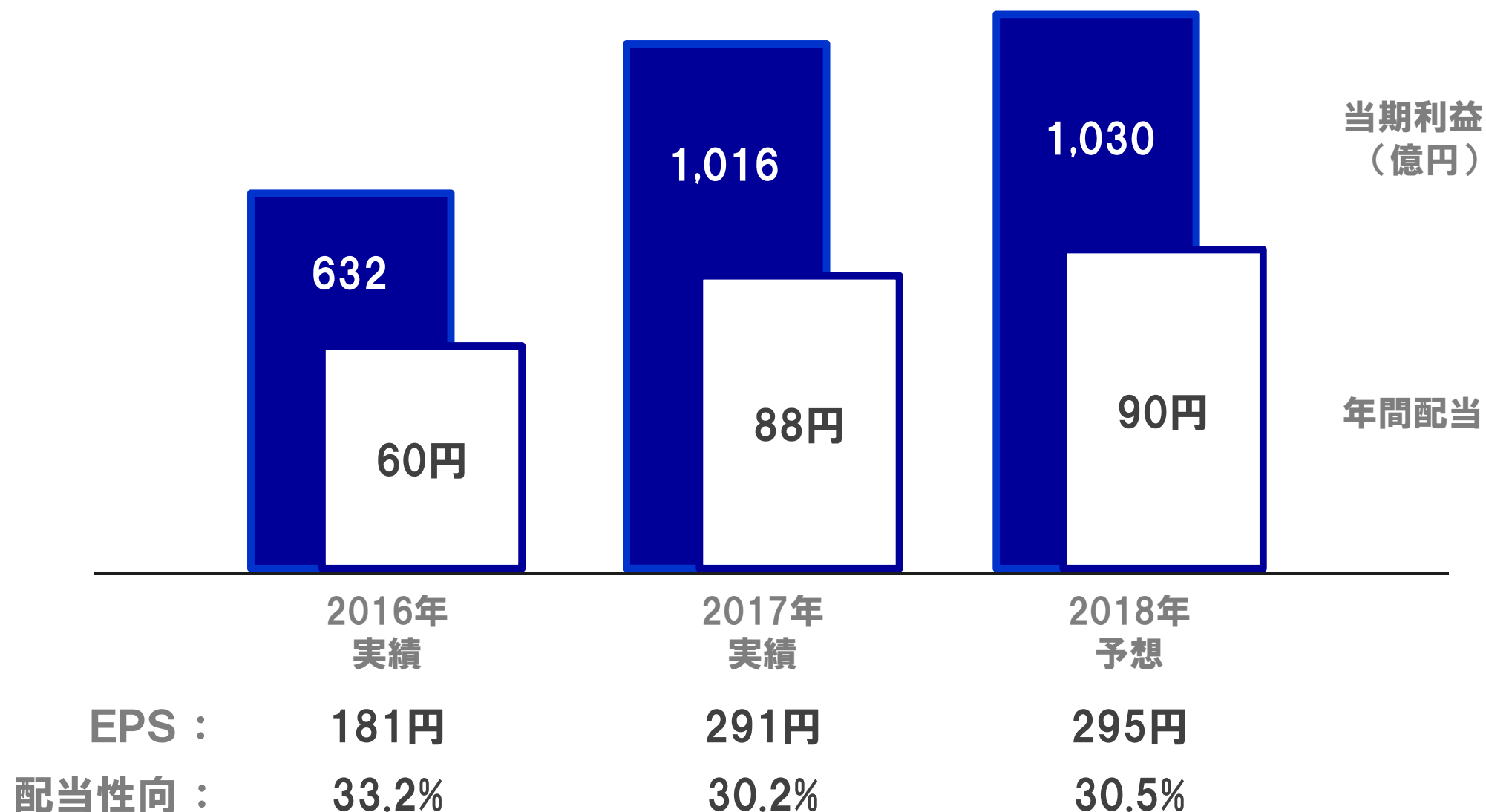
2015年 2016年 2017年 2018年

積極的な株主還元、機動的な成長投資に備える。

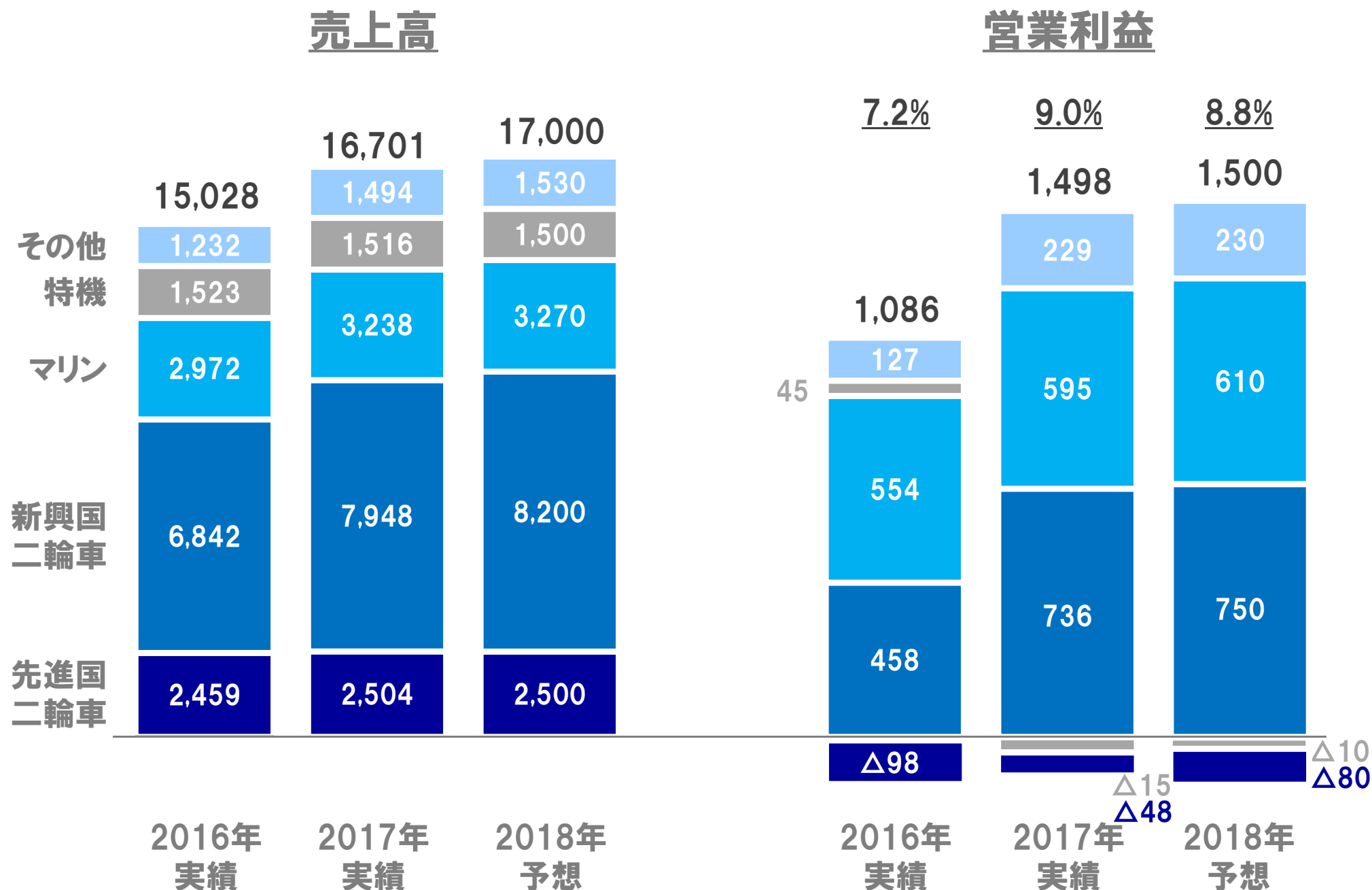


# 株主還元

6期連続の増配へ。



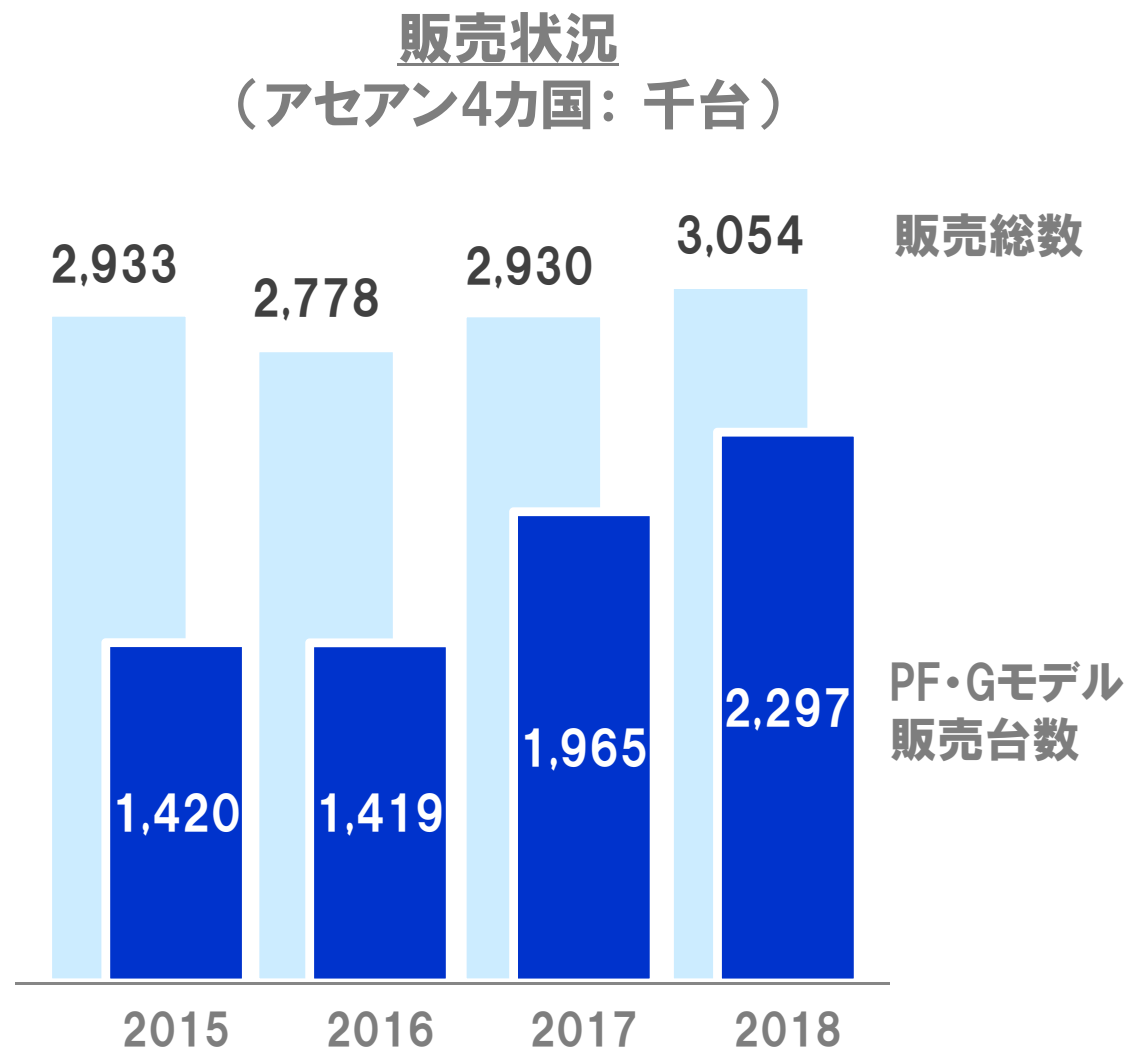
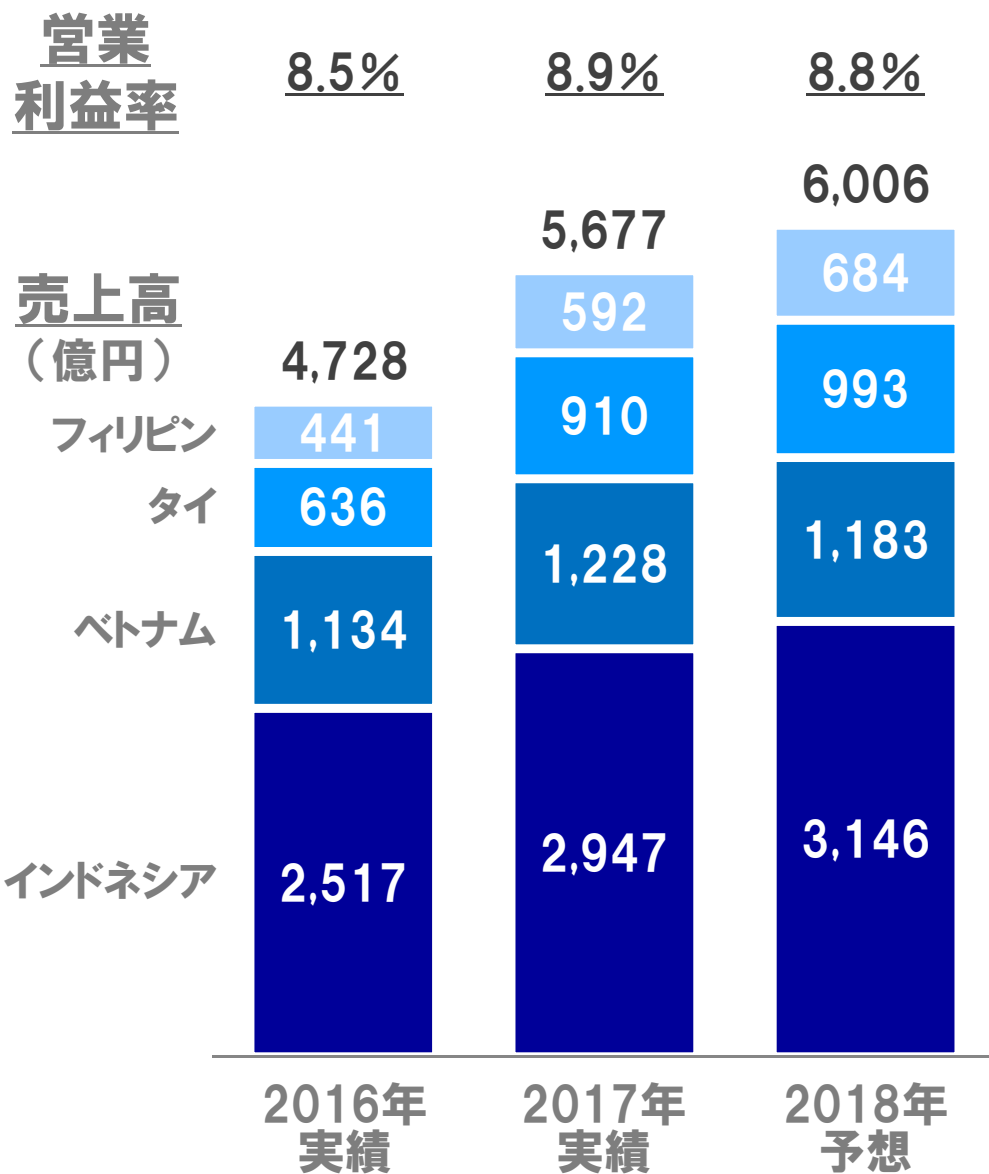
# 経営業績：事業別 売上高・営業利益



(\$/€: 109/121)(112/127)(105/130)

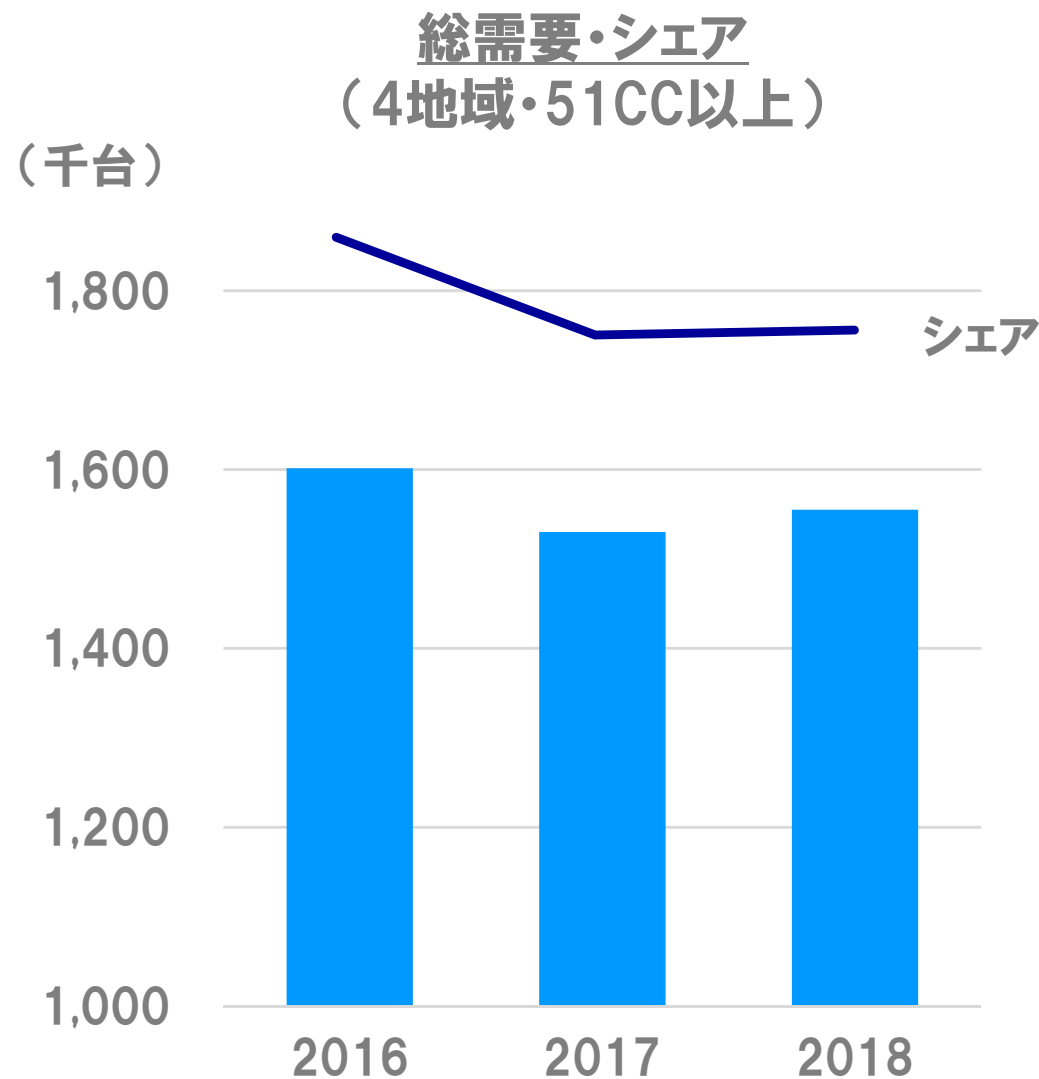
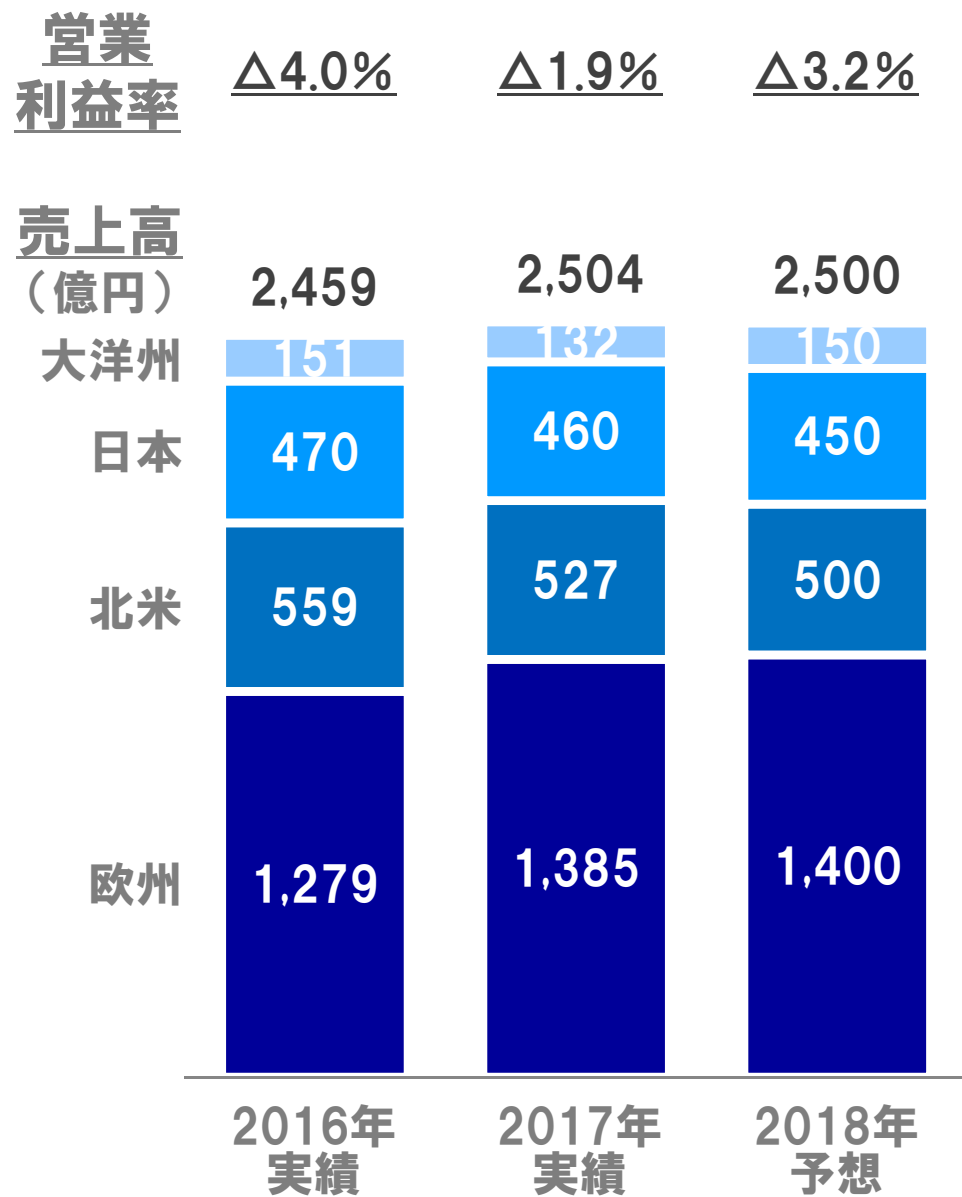
※ その他：産業用機械・ロボット含む

プラットフォームモデルで高めた収益性を維持し、  
各市場で高いプレゼンスを発揮するための商品投入を進める。





ブランド個性を発揮する商品・ヤマハらしいマーケティングを展開しながら、  
新たな需要を創る。



LMWの新しい価値でお客様を広げる。



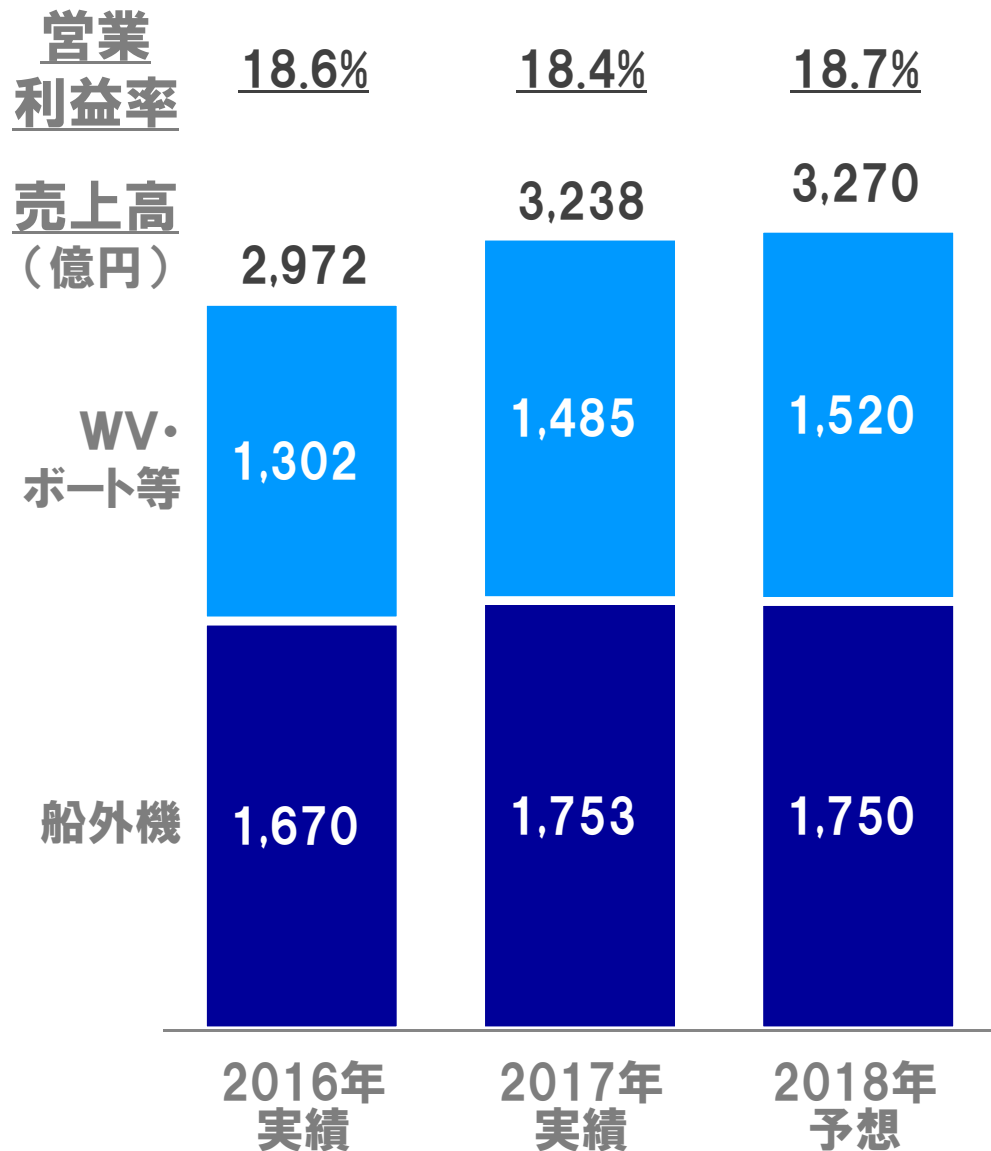
TRICITY  
シティコミューター



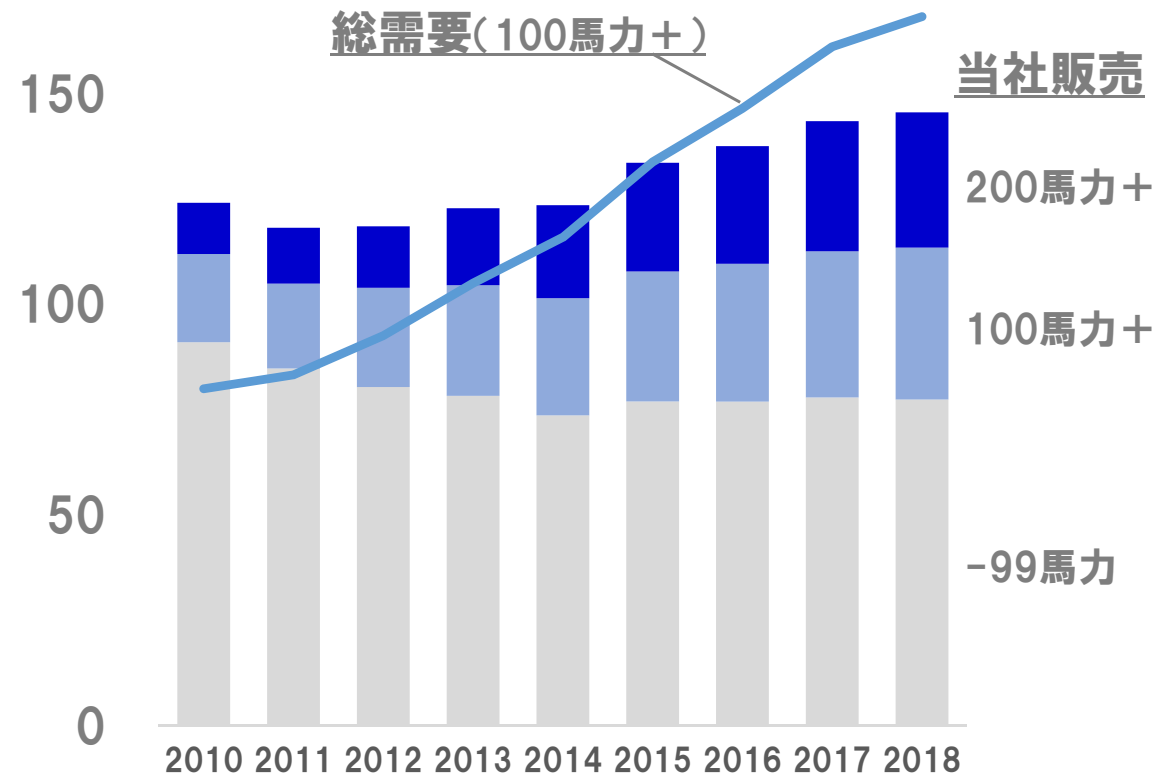
NIKEN  
スポーツ

# マリン事業

システム・サプライヤーの本格的実現へ。



船外機 総需要 当社販売  
(北米・欧州市場: 千台)



# B.B.アライアンス、システムサプライヤー戦略で市場領域を広げる。



大型艇

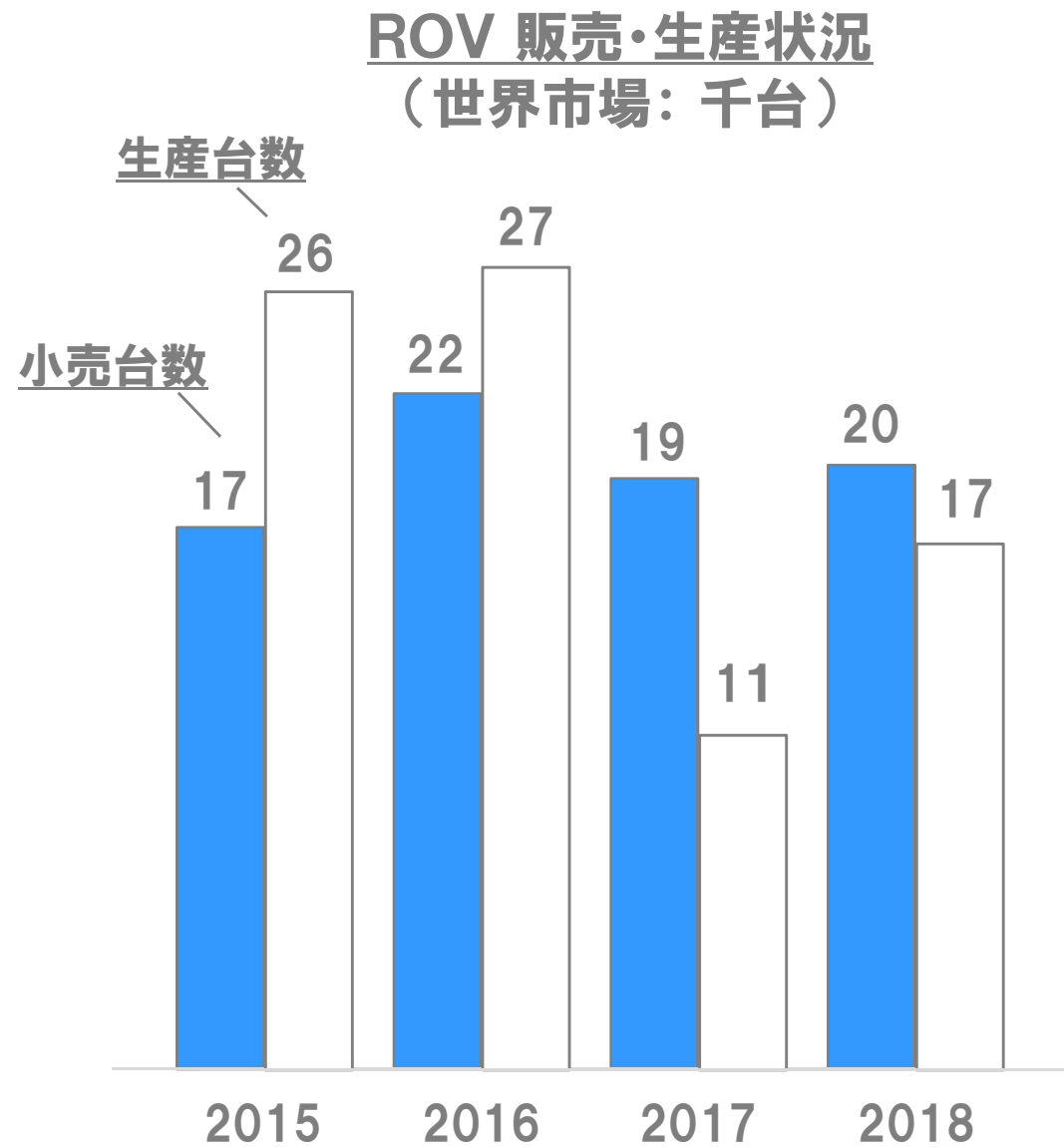
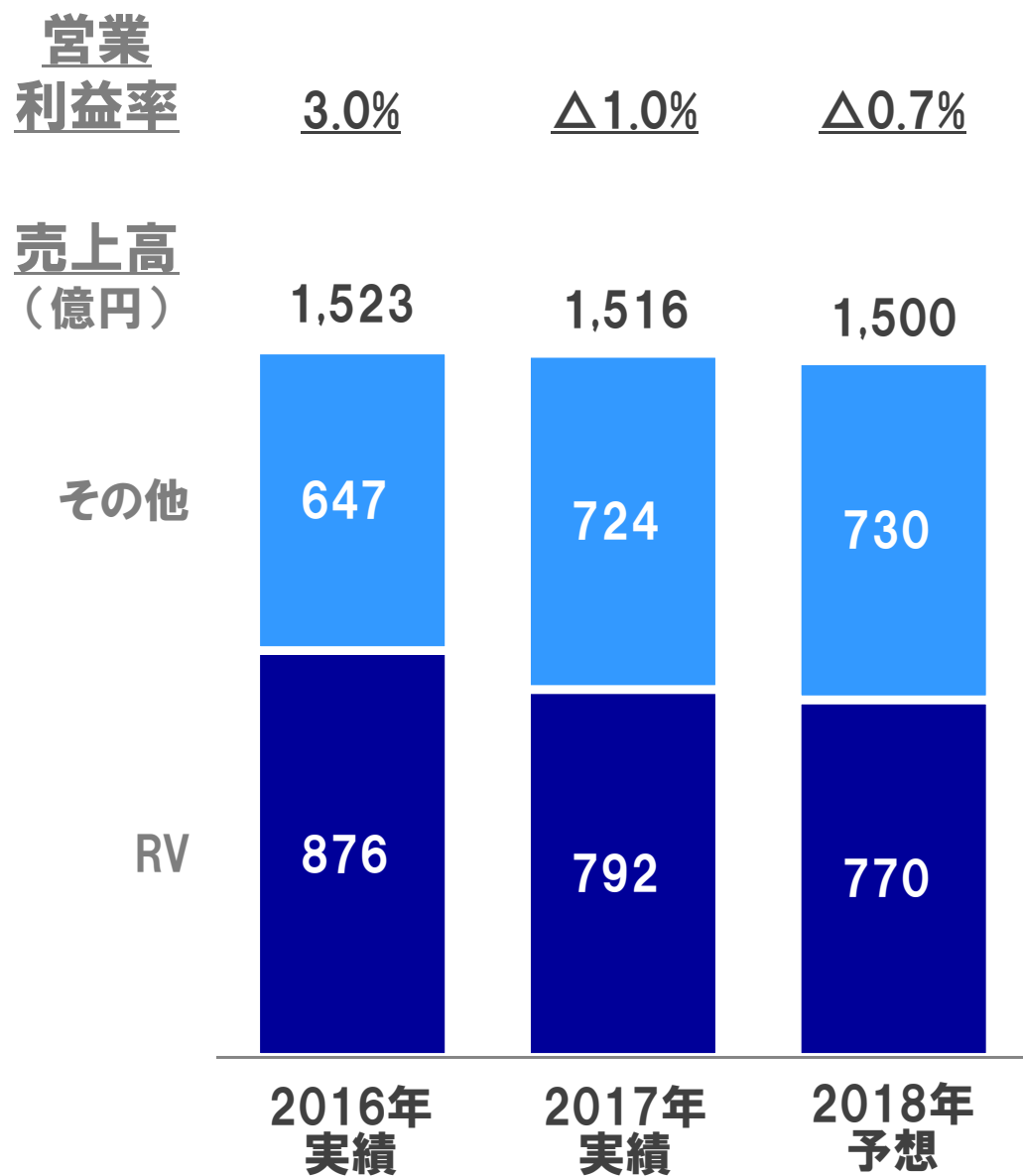
中小型艇

推進機

部品・  
アクセサリ

# 特機事業

在庫正常化完了、新しい商品戦略を進める。



# レクリエーションを中心に、市場領域を広げる。

Personal



WOLVERINE



YXZ1000R SS



VIKING



Multi-purpose



WOLVERINE X4

Pure Sports



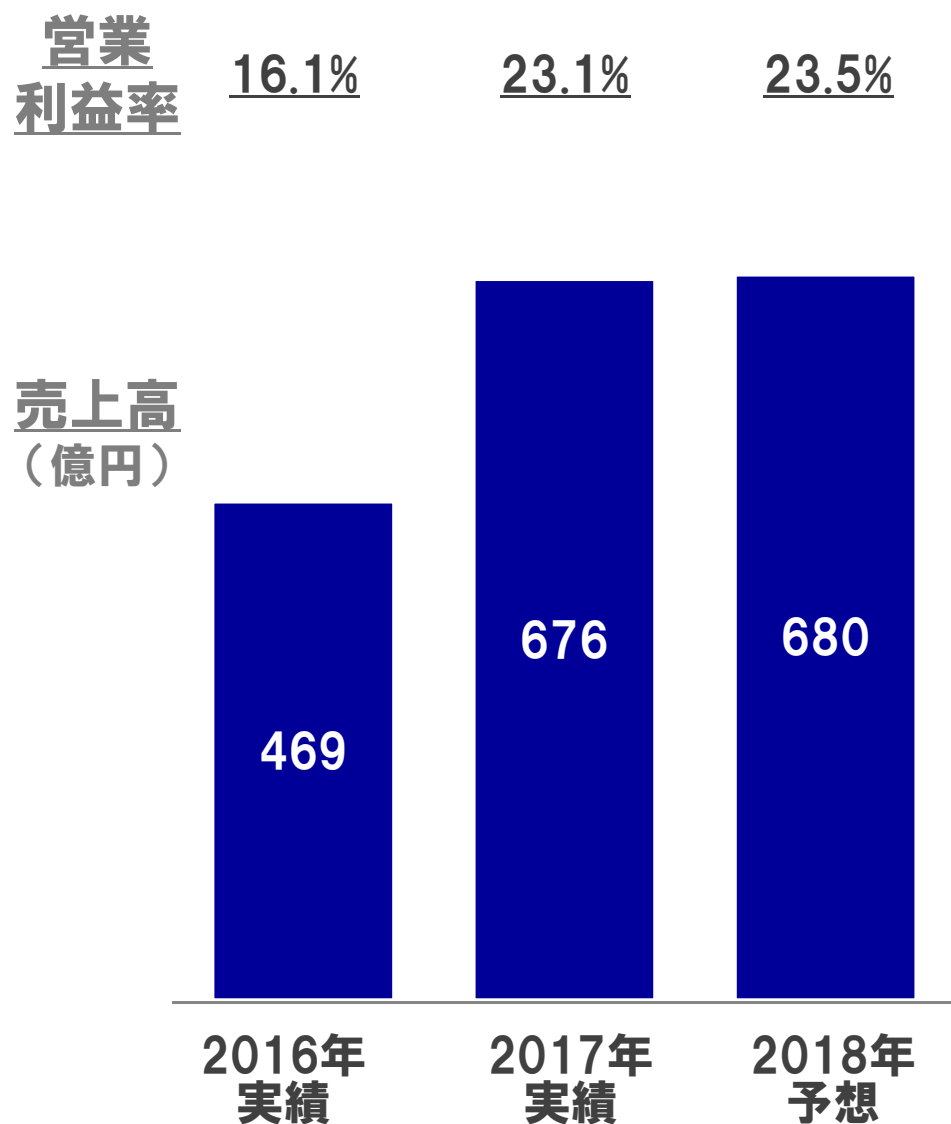
VIKING VI

Multi-passengers/Family

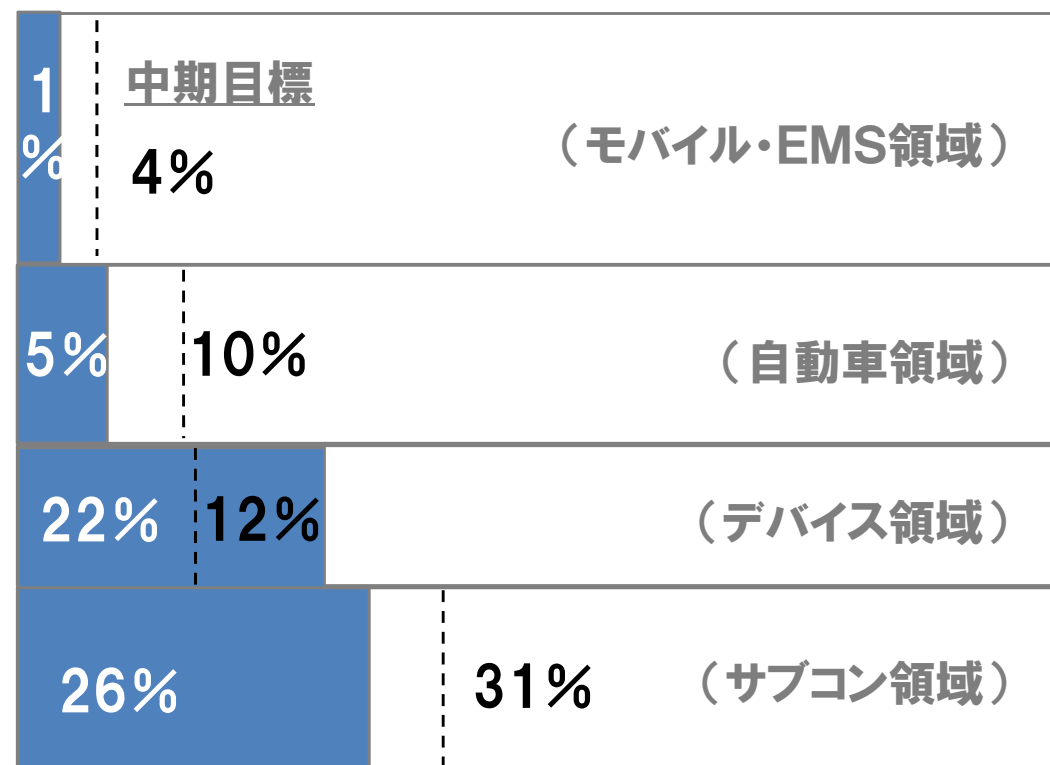


# 産業用機械・ロボット事業

高速領域ラインナップを一新し、高効率ソリューションを提供する。



表面実装機(世界市場)  
総需要・ヤマハシェア  
2017年実績



高速領域のラインナップを広げ、  
培った技術で事業分野も広げる。



Z:TA-R  
200,000CPH



Z:LEX YSM250R  
95,000CPH



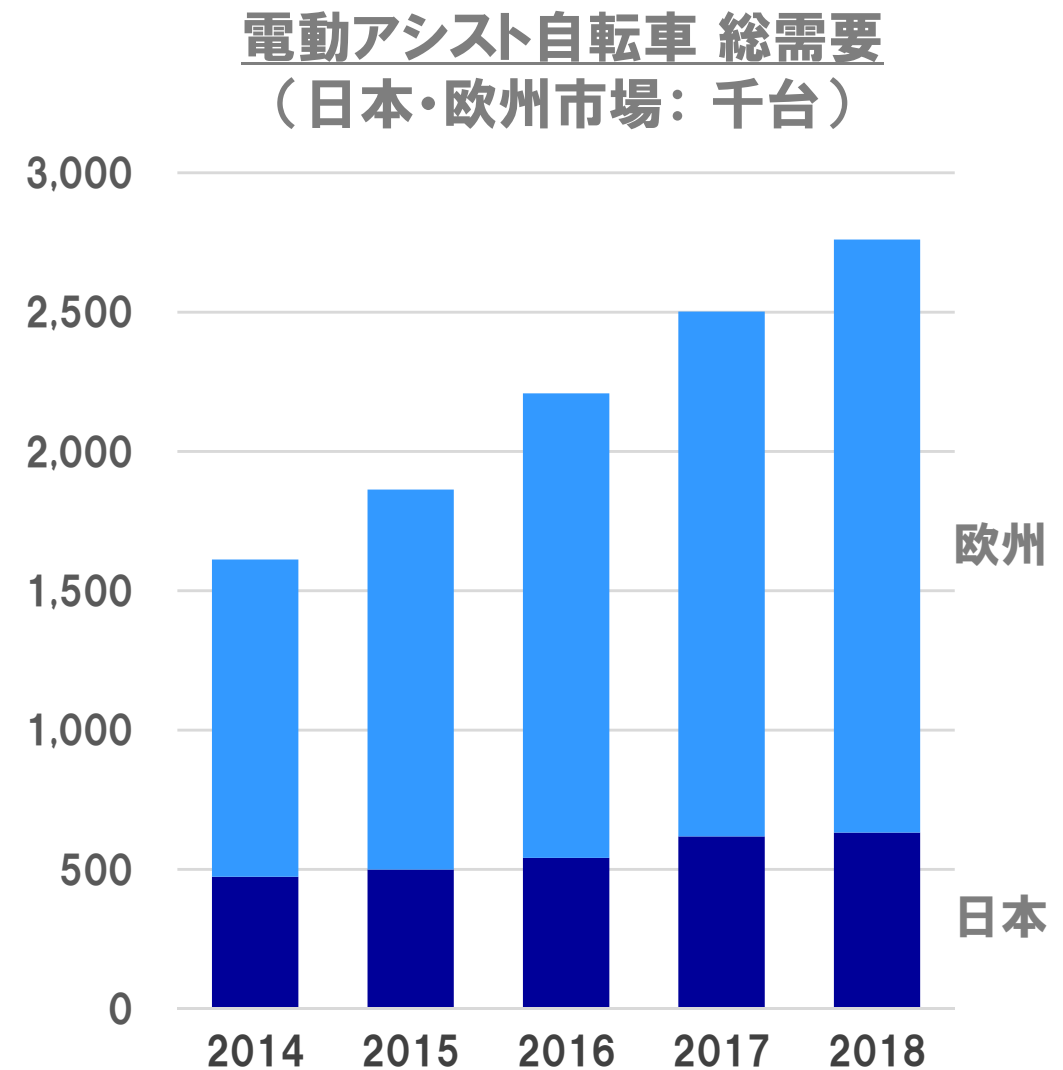
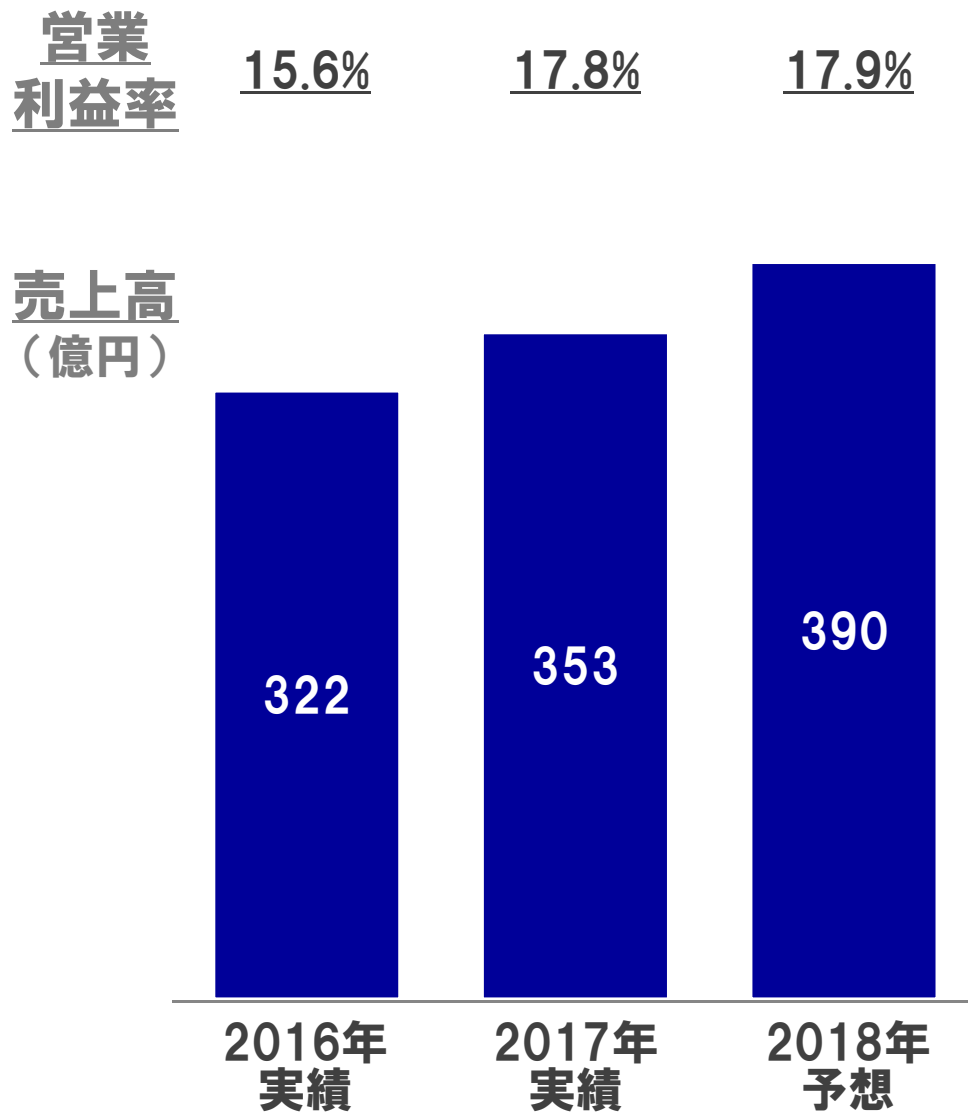
Σ-G5S II  
90,000CPH



CELL HANDLER  
(医療用システム)

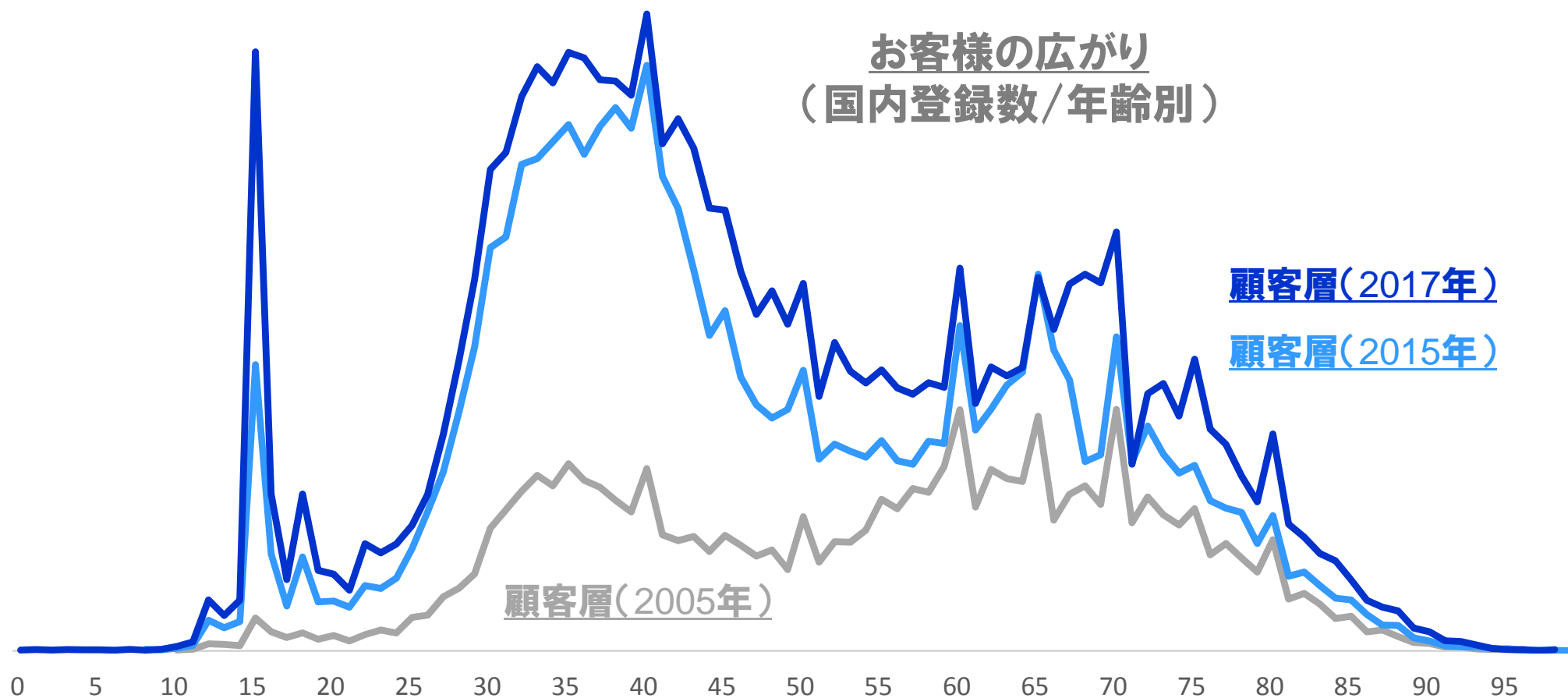
# PAS事業

国内60万台、欧州200万台規模の市場へ成長続く。



# 商品ラインナップを拡充してお客様を広げる。

お客様の広がり  
(国内登録数/年齢別)



通学モデル  
PAS With



アシストロードバイクモデル  
YPJ-R



ファミリーモデル  
PAS Babby



足つき No.1モデル  
PAS SION



# 主要商品別 総需要・当社出荷台数

台数単位:千台

	総需要（当社推定）		
	16年実績	17年実績	18年予想
日本	373	384	365
北米	547	535	529
欧州	1,576	1,501	1,495
インドネシア	5,557	5,451	5,400
タイ	1,743	1,813	1,850
インド	17,641	19,124	20,000
ベトナム	3,120	3,272	3,300
台湾	852	1,000	850
中国	7,992	7,853	7,173
その他	4,822	5,746	6,171
アジア計	41,728	44,260	44,744
ブラジル	884	824	894
その他	6,666	6,491	6,604
その他計	7,550	7,315	7,499
<b>二輪車計</b>	<b>51,774</b>	<b>53,995</b>	<b>54,632</b>
船外機	717	820	833
ATV	412	394	401

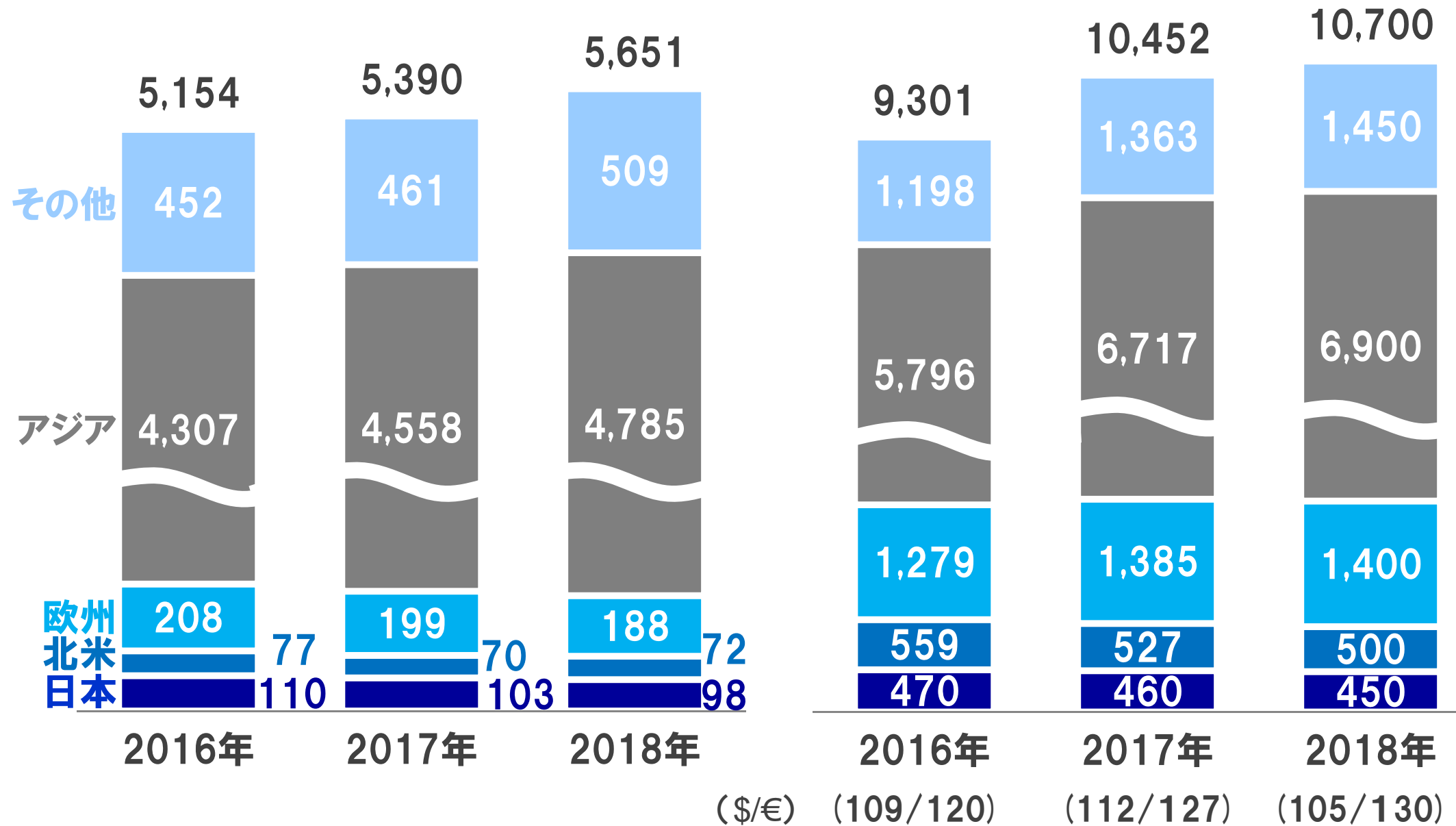
	ヤマハ発動機 出荷台数		
	16年実績	17年実績	18年予想
日本	110	103	98
北米	77	70	72
欧州	208	199	188
インドネシア	1,394	1,349	1,440
タイ	240	307	322
インド	786	787	900
ベトナム	844	865	812
台湾	254	291	254
中国	247	245	260
その他	540	714	797
アジア計	4,307	4,558	4,785
ブラジル	100	112	120
その他	353	349	389
その他計	452	461	509
<b>二輪車計</b>	<b>5,154</b>	<b>5,390</b>	<b>5,651</b>
船外機	292	301	304
ATV	57	58	56



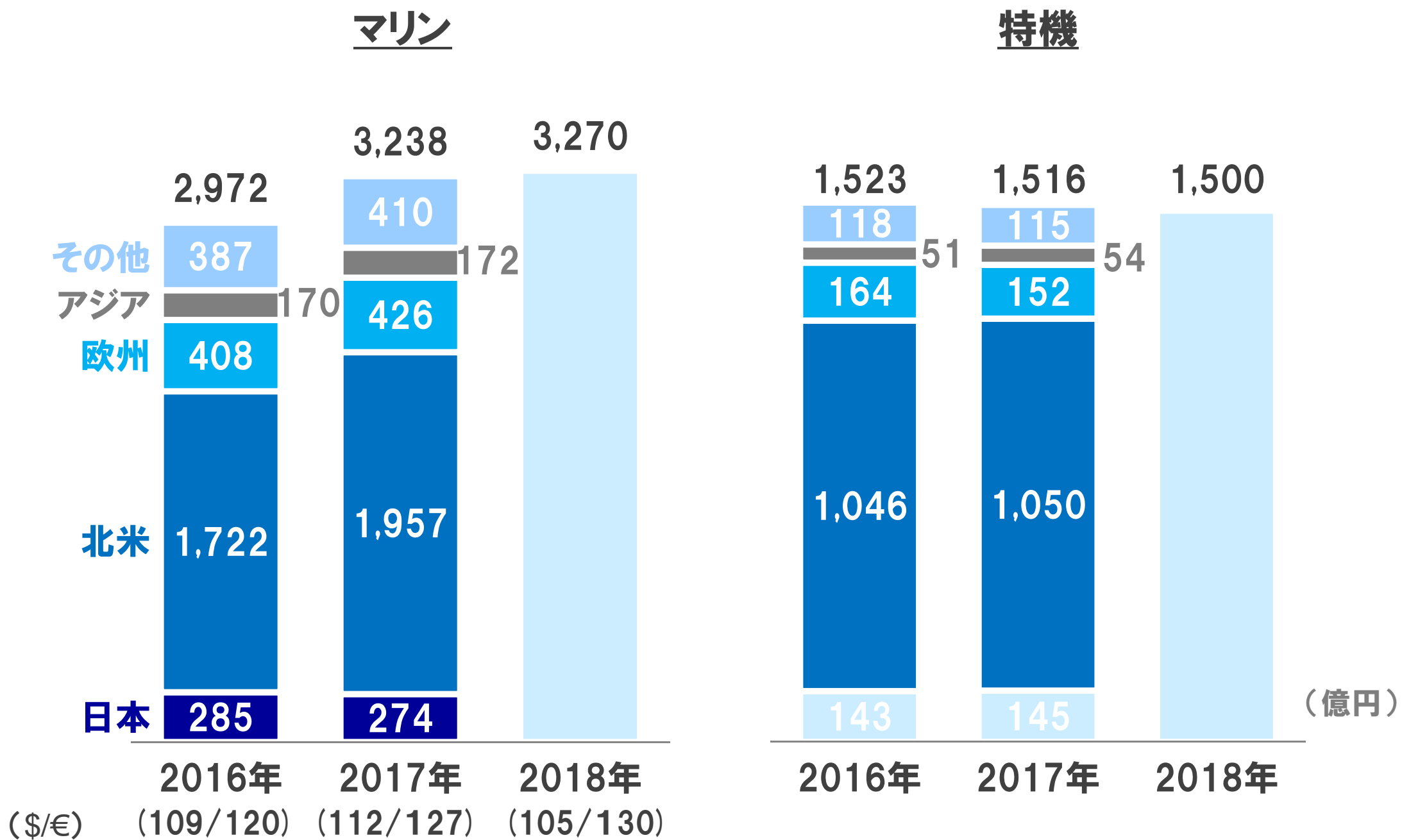
# 二輪車販売台数・売上高（年間）

**出荷台数**  
(千台)

**売上高**  
(億円)



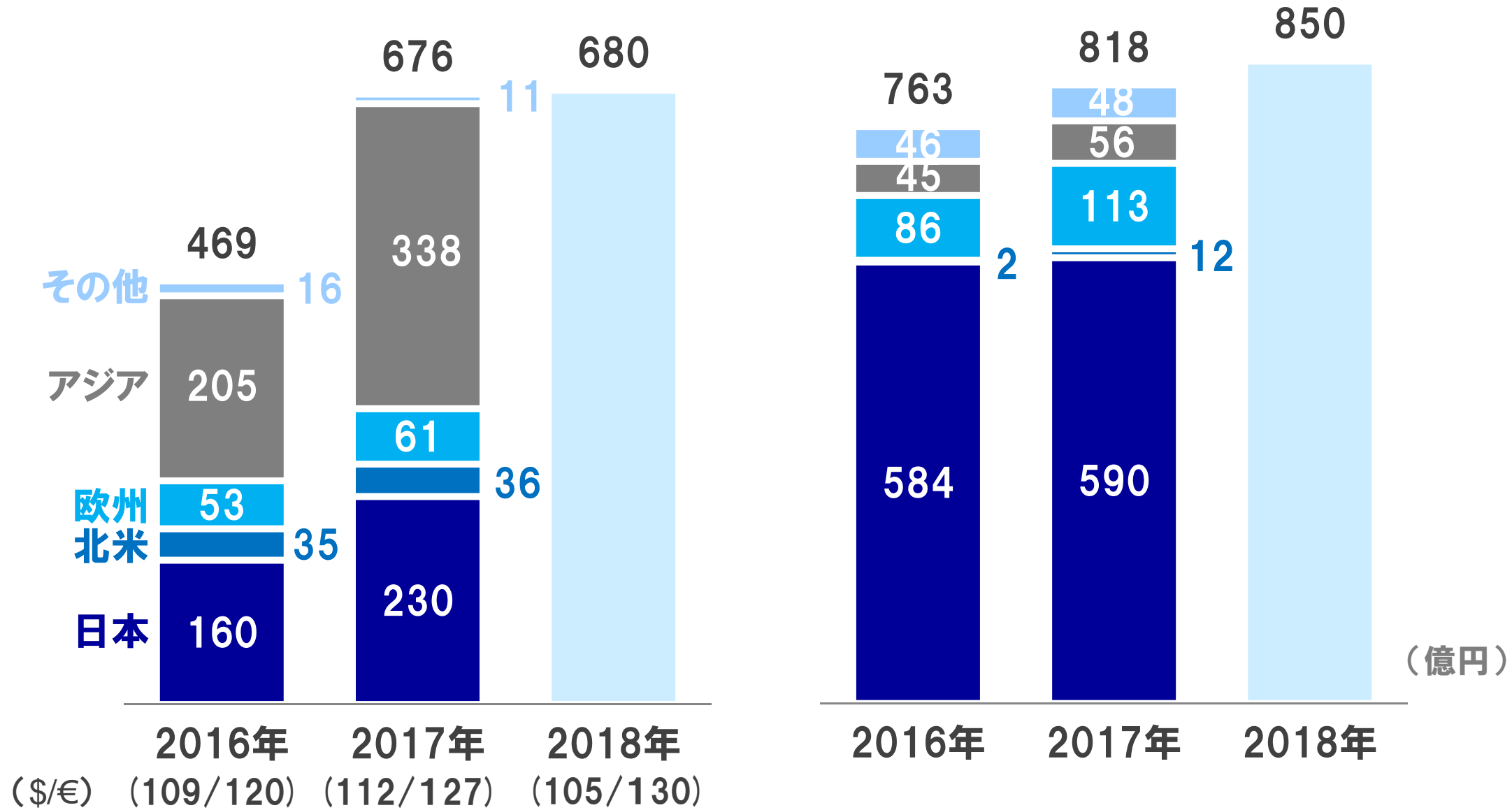
# マリン 特機 売上高（年間）



# 産業用機械・ロボット その他 売上高（年間）

## 産業用機械・ロボット

## その他



# 設備投資・減価償却費・研究開発費・有利子負債

(億円)

	16年	17年
<b>設備投資</b>	<b>613</b>	<b>565</b>
<b>減価償却費</b>	<b>424</b>	<b>455</b>
<b>研究開発費</b>	<b>949</b>	<b>992</b>
<b>有利子負債</b>	<b>3,644</b>	<b>3,535</b>
<b>(うち販売金融分)</b>	<b>2,146</b>	<b>2,487</b>

# 為替影響（対前年）

（億円）	17年実績（年間）				18年予想（年間）			
	US\$	EURO	その他	合計	US\$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	48	27	21	97	△115	31	△5	△89
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	23	23	0	0	0	0
粗利益の換算影響（海外子会社）	20	15	92	127	△45	15	△37	△67
販管費の換算影響（海外子会社）	△16	△15	△62	△93	35	△9	20	46
<b>営業利益への為替影響</b>	<b>52</b>	<b>27</b>	<b>74</b>	<b>154</b>	<b>△125</b>	<b>38</b>	<b>△22</b>	<b>△110</b>

## 為替感応度

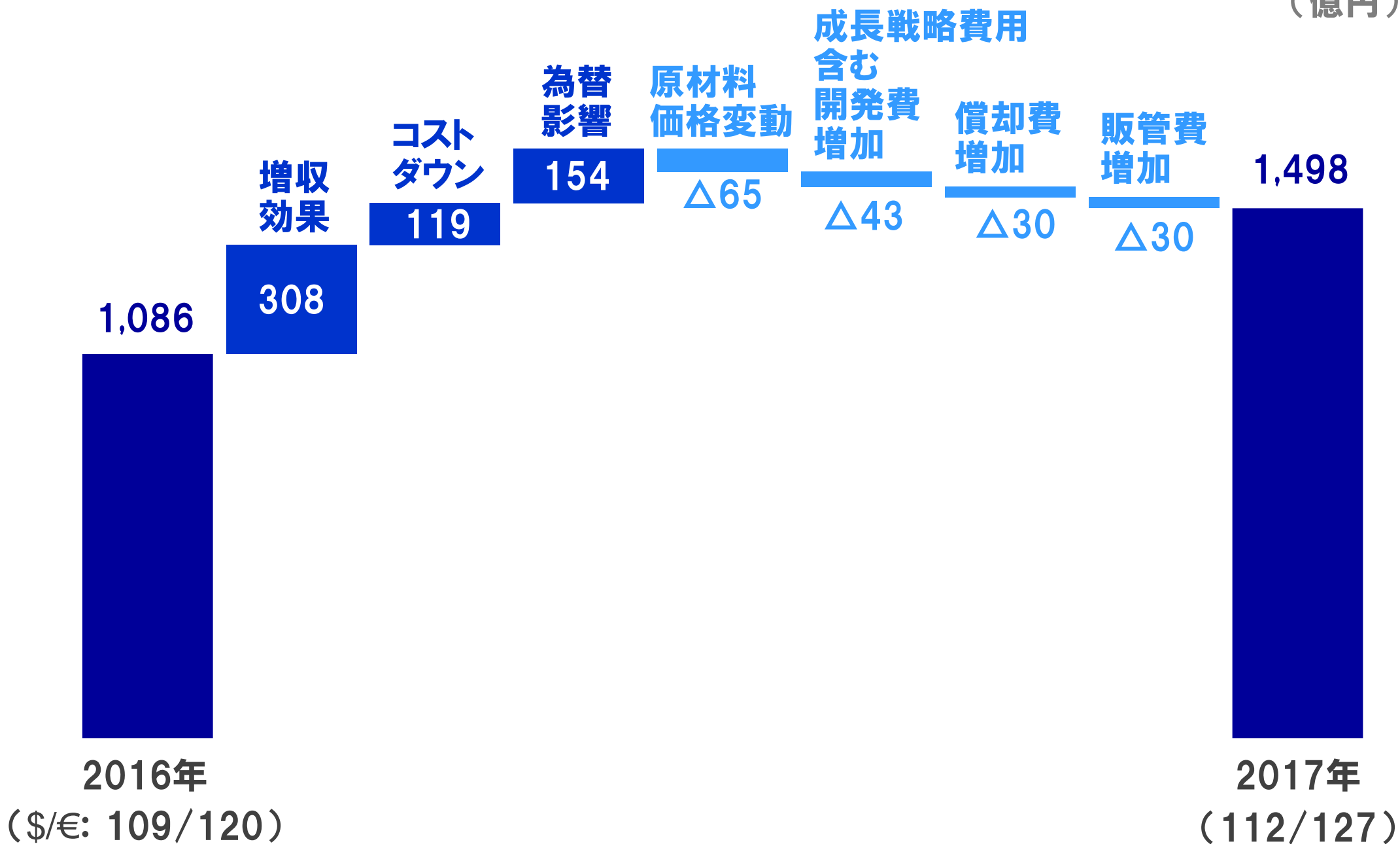
1円の変動が営業利益  
に与える影響額

US\$ 14億円  
EURO 8億円

US\$ 16億円  
EURO 8億円

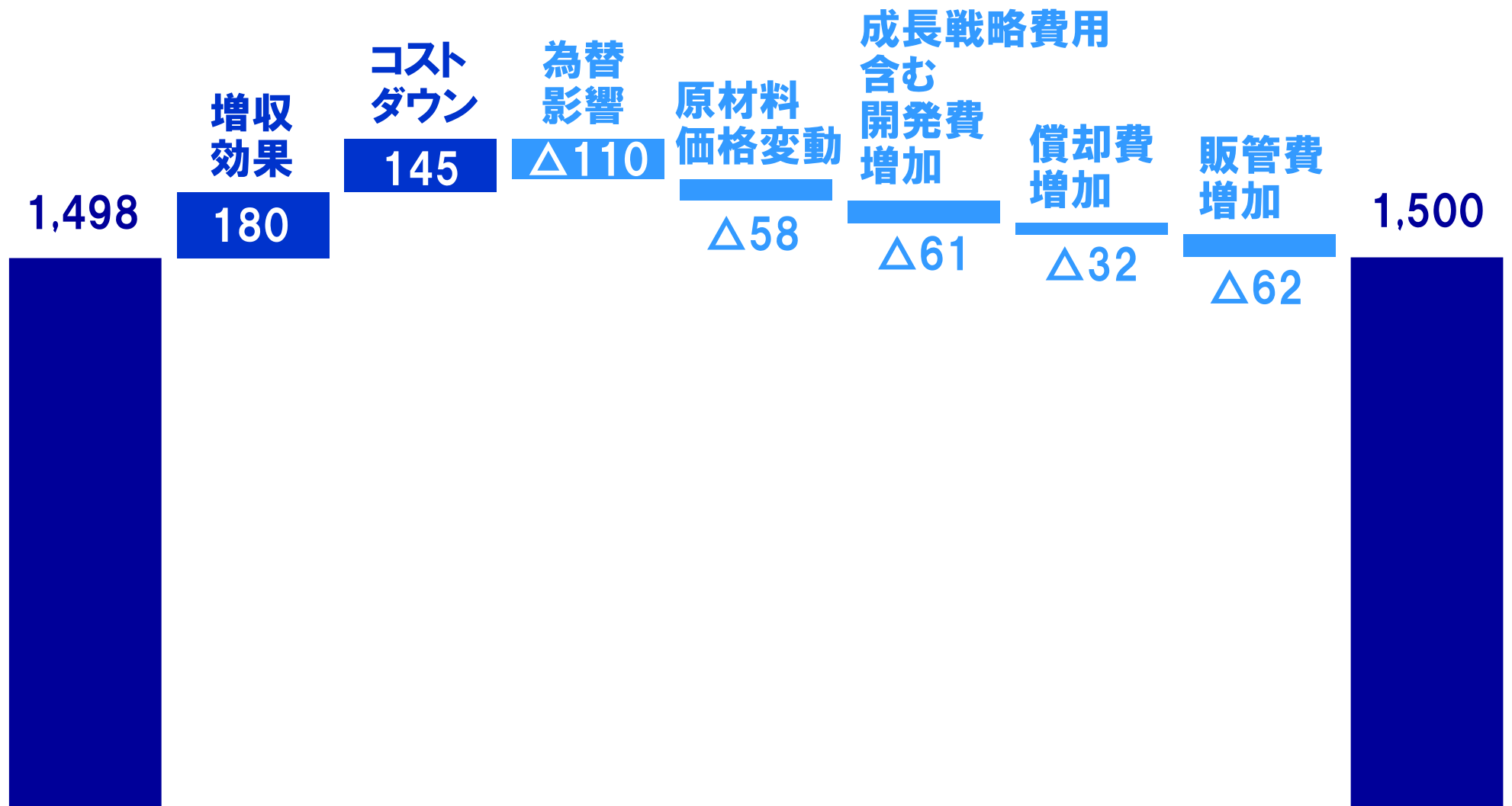
# 営業利益変動要因（実績）

（億円）



# 営業利益変動要因（年間予想）

（億円）



2017年

2018年

(\$/€: 112/127)

(105/130)